

注意: やむをえない理由により、予告なしに担当講師が代講または変更となることがあります。講座開始後、この変更を理由に講座をキャンセルされる場合、受講料の返還はいたしません。

講座名 講座コード	イタリア語セミナー(a) 095001A	担当者	ドルネッティ フィリッポ Dornetti ,Filippo	火曜日
サブタイトル	イタリア現代史を映画で学ぶ			
対象レベル	当講座当該語学科の上級修了レベル、または同等の語学力の方			
講座の内容	<p>この授業では、イタリア映画の古典作品を見ながら、イタリア現代史を解説します。特に、ルキノ・ヴィスコンティ作『夏の嵐』(Senso)、ロベルト・ロッセリーニ作『無防備都市』(Roma città aperta)、フランチェスコ・ロージ作『シシリーの黒い霧』(Salvatore Giuliano)という有名作品を分析しながら、ヴェネツィアにおけるイタリア統一運動史、ローマの反ファシズム運動史、シチリアにおける戦後史を学びます。イタリア映画史やイタリア史を研究している方、または関心を持っている方が対象です。</p> <p>中・上級クラスで学習した文法事項・語彙と表現を復習しながら、ビデオ教材の聞き取りとオリジナル資料の読解を行い、より高度な語学力を養成します。教材の中の難しい文法事項や難解な文章を取り上げ、分かりやすく説明していきます。</p>			
講座の進め方 ・到達目標	<p><b>授業計画:</b>  第1回 本講義の目的と概要についての説明  第2回 映画『夏の嵐』の上映  第3回 資料(1)の読解と聞き取り  第4回 資料(1)の読解と聞き取り  第5回 映画『無防備都市』の上映  第6回 資料(2)の読解と聞き取り  第7回 資料(2)の読解と聞き取り  第8回 資料(2)の読解と聞き取り  第9回 映画『シシリーの黒い霧』の上映  第10回 資料(3)の読解と聞き取り  第11回 資料(3)の読解と聞き取り  第12回 復習  ※資料(1)～(3)は授業で配付  <b>授業の到達目標:</b> 中・上級イタリア語の授業で学んだ基礎的な語彙と常用表現を増やしなが  ら、文法知識の活用をはかります。</p>			
この講座で重視 している項目	<input checked="" type="checkbox"/> 会話 <input type="checkbox"/> 作文 <input checked="" type="checkbox"/> 読解 <input checked="" type="checkbox"/> 聴解 <input checked="" type="checkbox"/> 文法 <input checked="" type="checkbox"/> 発音 <input type="checkbox"/> プレゼンテーション			
使用言語	<input type="checkbox"/> 全て日本語 <input type="checkbox"/> 全てイタリア語 <input checked="" type="checkbox"/> 日本語とイタリア語の併用 (説明は日本語で行います。)			
使用予定教材、 配付資料、参考 書・辞書、勉強 の留意点、受講 者へのメッセー ジなど	1)教材に関しては、講師配付資料を使用する予定です(授業で配付)。 2)扱うテーマは受講者の関心にも合わせて選択する予定です。			

注意: やむをえない理由により、予告なしに担当講師が代講または変更となることがあります。講座開始後、この変更を理由に講座をキャンセルされる場合、受講料の返還はいたしません。

講座名 講座コード	<b>イタリア語セミナー(b)</b> <b>095002A</b>	担当者	マッジャ フェデリカ Maggia Federica	金曜日
サブタイトル	ITALIA: Lingua-Costume-Attualità (イタリア: 言葉・風習・時事問題)			
対象レベル	<p>以下のいずれかに該当する方々</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当講座当該語学科の上級修了レベルまたは同等の語学力の方</li> <li>・ヨーロッパ言語共通参照枠組み(CEFR)のA2レベル以上の方:</li> </ul> <p>具体的には次のような方です。</p> <p>「ごく基本的な個人的情報や家族情報、買い物、近所、仕事など、直接的関係がある領域に関する、よく使われる文や表現が理解できる。簡単に日常的な範囲なら、身近で日常の事柄についての情報交換に応ずることができる。自分の背景や身の回りの状況や、直接的な必要性のある領域の事柄を簡単な言葉で説明できる。」(『外国語の学習、教授、評価のためのヨーロッパ共通参照枠 訳・編: 吉島茂・大橋理枝(他), Common European Framework of Reference for Languages : learning, teaching, assessment』, 朝日出版、2004年、25ページより)</p>			
講座の内容	<p>この講座は、すでに学んだものを異なる角度から学び直し、しっかりと定着させることで、イタリア語の運用能力をさらに向上させ、イタリア文化の理解を一層深めることを目的としています。教科書のほか、雑誌記事やビデオを使い、上級レベルの語学能力の獲得を目指します。</p>			
講座の進め方 ・到達目標	<p>授業では、CD/ビデオ教材の視聴と内容把握の訓練(リスニング力の強化)あるいはテキスト読解と内容把握の訓練(読解力の強化)を行なった後、ボキャブラリーや文の構造などを確認し(語彙、文法力の強化)、最後に内容についてのディスカッションを行ないます(会話力の強化)。また、作文(ディスカッションについてのコメント、扱ったテーマについての自身の意見など)や練習問題を課することで、書く能力の向上にも力を入れます。</p>			
この講座で重視している項目	<input checked="" type="checkbox"/> 会話 <input checked="" type="checkbox"/> 作文 <input checked="" type="checkbox"/> 読解 <input checked="" type="checkbox"/> 聴解 <input checked="" type="checkbox"/> 文法 <input checked="" type="checkbox"/> 発音 <input type="checkbox"/> プレゼンテーション			
使用言語	<input type="checkbox"/> 全て日本語 <input checked="" type="checkbox"/> 全てイタリア語 <input type="checkbox"/> 日本語とイタリア語の併用			
使用予定教材、配付資料、参考書・辞書、勉強の留意点、受講者へのメッセージなど	<p>1) 教材に関しては、講師配付資料を使用する予定です。(第1回目の授業で配付予定です。)</p> <p>2) 扱うテーマは受講者の関心にも合わせて選択する予定です。</p>			